

全学年対象：感染拡大予防を念頭においた健康・行動管理について

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から感染症法上5類取り扱いに変更されましたが、大阪大学医学部及び附属病院の構成員においては引き続き医療従事者としてより高い感染予防の意識が求められています。医学部及び附属病院で学ぶ学生もまた医療従事者の一員であるとみなされ、感染予防・行動管理意識の徹底が求められています。

①健康管理の徹底

毎日の健康管理を徹底して下さい。検温を行うほか、倦怠感・咽頭痛・咳嗽といった症状の有無を確認するようにして下さい。これら普段とは異なる症状を有する場合は、無理をして登校しないようにして下さい。くれぐれも「大丈夫だろう」という自己判断で登校しないようにして下さい。なお、体調不良時により試験を休む場合、診断書の提出が必要となります。診断書がなければ無断欠席扱いとなります。

②医学部敷地内の室内における不織布マスク常時着用の徹底

医学部では引き続き、室内における清潔な不織布マスク常時着用を徹底して下さい。

③行動管理と感染症リスクが高い環境の回避

医療従事者の一員として、一般よりも厳格な行動管理を行って下さい。

<感染拡大予防を意識した医療者としての適切な行動

(大阪大学医学部附属病院の基準を参考) >

- 食事時の会話を控えた個食・黙食
- 感染リスク低減のための標準予防策の徹底（手指衛生、マスク着用ほか）
- 会食における時間短縮（目安2時間以内）や参加人数の制限・縮小
- 感染症リスクが高い環境の回避

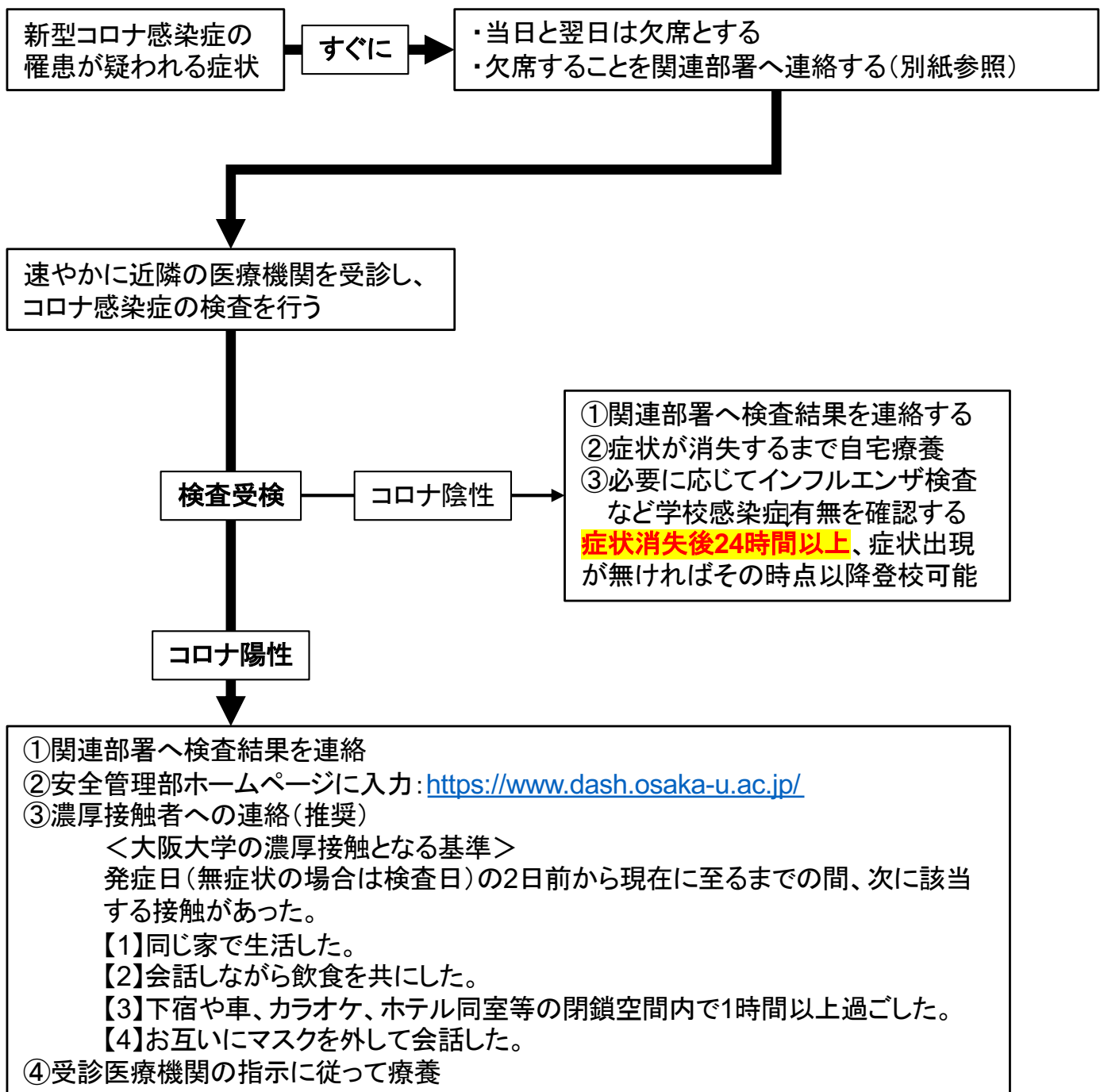
④安全な環境の保持

安全な環境の保持を徹底して下さい。管理不徹底のために大阪大学医学部及び附属病院の機能が制限され、医療が損なわれることが無いように、一人ひとりが自覚を持って臨んで下さい。

全学年対象：新型コロナウイルス感染症罹患が疑われる時の対応について

毎日の健康管理として、検温を行うほか、咽頭痛・咳嗽・倦怠感・嗅覚味覚異常といった症状の有無を確認し、体調管理表に記載することを推奨します。

もし上記の症状といった新型コロナウイルス感染症罹患が疑われる時は、授業・試験・実習にかかわらず登校せず欠席とし、関連する講座／診療科・学外医療機関・教務係など適切な部署へ連絡を行って下さい(別紙参照)。これら欠席については諸君の不利益にはなりません。試験欠席の際は診断書の提出が求められます。また、可能な限り速やかに近隣医療機関を受診し、検査を受けて下さい。



授業・実習欠席時の担当教員（部署）への連絡方法について

授業・実習の欠席について、担当教員への連絡方法は下記のとおりです。

なお、シラバスや配布物等にて欠席の連絡方法が指定されている場合は、必ずその指示に従ってください。

授業・実習（試験は除く）の欠席について、原則として、教務係での連絡取次は行いませんので、必ず各自にて連絡を取ってください。

◆医学部医学科の専門教育科目の欠席連絡について

➤ **メールでの連絡方法** : シラバスやCLEコースに、授業担当教員のメールアドレスが掲載されている場合があります。
連絡の際は、必ず自身の氏名・学籍番号・連絡先をメール本文に記載してください。

➤ **CLEを利用した連絡方法** : CLEの各授業コース上から、授業担当教員宛にメールを送ることができます。
連絡の際は、必ず自身の氏名・学籍番号・連絡先をメール本文に記載してください。

なお、3、4年次臨床講義についてCLEからメールを送信する場合は、必ず担当教員を選択して送信してください。
すべての教員ユーザー宛にメールを送ると、関係のない診療科へも連絡が行きますので避けてください。

➤ **電話での連絡方法** : シラバスやCLEコースに、授業担当教員の電話番号が掲載されている場合があります。

また、医学部代表番号（06-6879-5111：8:30~17:00受付）から、授業担当教室への電話転送を依頼することもできます。
その際、“●●の授業担当者”ではなく、“●●教室へ”と、必ず教室名を指定して転送依頼してください。
担当教員の教室名は、シラバスから確認できます。

➤ **実習の欠席連絡について**

病院実習期間中の場合は、配属先病院の連絡先及び実習ノートに記載している医局担当者へ連絡してください。

◆全学共通教育科目や他学部授業の欠席連絡について

➤ 授業開講部局のHPやシラバス等を参照し、各部局の定める方法に従って連絡してください。